

# 八雲町の議会

第 61 号  
令和元年5月

編集／議会広報広聴常任委員会



給食おいしいね！……………（落部小学校）

映像配信中！YouTube  
「八雲町議会」で 🔍 検索

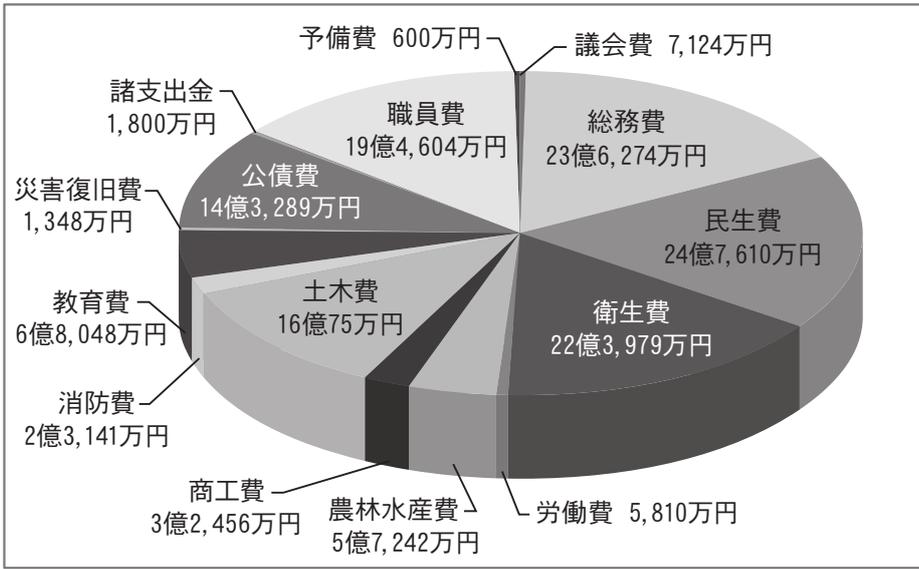


## 主な内容

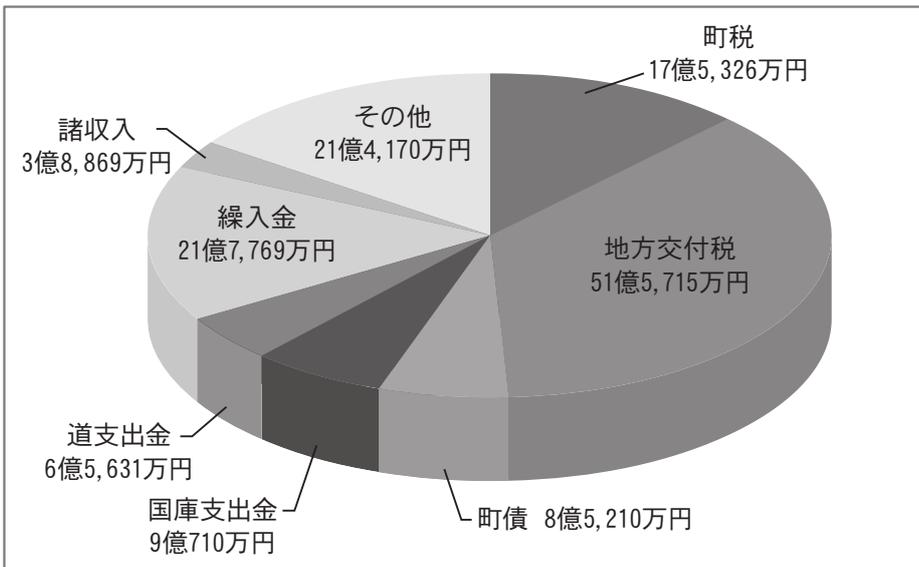
	ページ
○令和元年度予算概要（第1回定例会）……………	②
○令和元年度予算ここが知りたい（予算特別委員会）……………	⑥
○議会報告会……………	⑨
○6名の議員が町政を問う（一般質問）……………	⑩
○議件・賛否一覧他（定例会・臨時会）……………	⑭
○常任委員会の活動（所管課報告）……………	⑰
○落部小学校PTA（耳をすまして）……………	⑱



**一般会計歳出 140億3,400万円**



**一般会計歳入 140億3,400万円**



**◆予算委員会からの意見**

噴火湾のホタテガイの大量へい死が大きな問題となっており、原因は未だ特定されていないが、その影響は稚貝にも及んでいることから、来期以降の水揚げ量の更なる減少が懸念される。

また、このことが漁業経営の圧迫や漁家の減少を招き、当町の水産業に大きな影響を及ぼすおそれがある。

一般会計予算においては、漁業協同組合経営安定対策を行うこととしているが、この危機的状況に対しても、国、北海道及び関係機関と連携し、原因究明と漁業経営の安定化に向け、慎重かつ適切に対応されたい。

**令和元年度  
予算**

**286億3758万2千円**

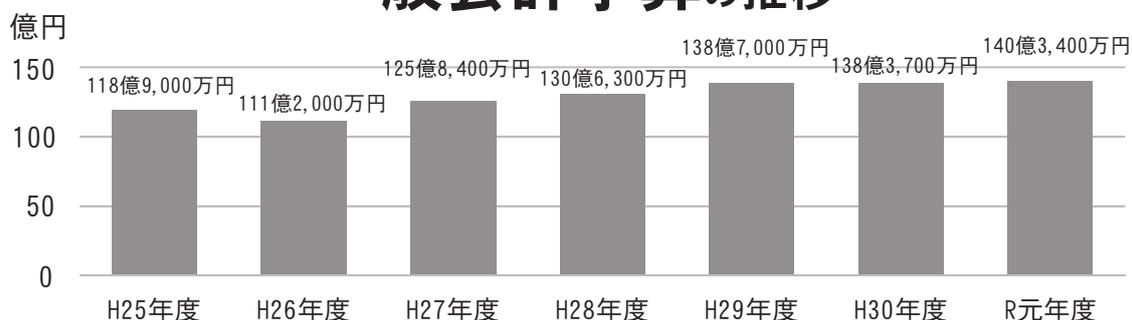
**一般会計・特別会計・企業会計総額**

# 第1回定例会 平成31年3/11~3/19

一 般 会 計	140億 3,400万円	1.4% 増
国 保 会 計	27億 6,982万円	7.8% 減
後 期 高 齢 者 会 計	2億 2,182万円	2.2% 増
介 護 保 険 会 計	20億 159万円	4.5% 増
熊石地域簡易水道会計	1億 6,881万円	16.8% 増
下 水 道 会 計	12億 4,190万円	44.9% 増
農 業 集 落 排 水 会 計	4,818万円	12.7% 減
病 院 会 計	75億 1,023万円	1.5% 増
水 道 会 計	6億 4,123万円	6.3% 増
合 計	286億 3,758万円	2.2% 増

全ての予算審議を賛成多数で可決

## 一般会計予算の推移



## 貯金と借金の状況は??



H30、R元年度は見込み

# 主な事業

## 研修牧場対策事業



上八雲地域に計画している研修牧場法人への出資及び実施設計

6,500万円

## さけます養殖施設整備事業



落部川における新たなさけます養殖施設整備に対する支援 今年度事業内容、現地測量・地下水調査等

1,424万5千円



子ども医療費助成

高校生まで医療費全額無料  
(8月1日から実施)

5,853万9千円

## 熊石地域新設統合保育園整備事業



熊石保育園及び相沼保育園統合、保育環境の充実を図るための事業

1億5,965万2千円



町営住宅整備事業

2億8,543万6千円

# 令和元年度予算

## 有害大型獣解体処理施設 整備事業



ヒグマ、エゾシカの解体処理施設を整備

1,709万円

## 地域高校就学支援事業



八雲高校への通学、下宿、模擬試験、各種検定、通信学習に係る経費の一部を助成

820万1千円

熊石国保病院建替え基本構想・基本計画策定業務 572万円

八雲総合病院医師住宅整備事業 1億504万8千円

熊石地域水産試験研究推進事業 684万3千円

熊石小学校グラウンド改修事業 738万1千円

未来につなぐ森づくり推進事業 2,630万6千円

# 注目した

## 消費喚起プレミアム商品券

※町独自事業



消費税増税による消費の落ち込みを見据えた商工業者支援事業

3,340万円

## 新役場庁舎整備事業



役場本庁舎及び公民館等を集約化した新庁舎の整備のための基本構想・基本計画策定

1,188万円

## 子育て世帯支援事業



小学校児童、中学校生徒に係る給食費を無償化

5,195万5千円



さいとう まこと 齋藤 實 委員長

# 今年の予算！

## 総務費

### 災害対策について

**Q** 要援護者の避難対策の現状は？

**A** H24年度にプランを作成し、

各町内会に要支援者名簿を提供。現在、覚書を締結している町内会

は20町内会で、個別計画を策定しているのは6町内会、36人。

**Q** 保健福祉課と町内会だけで、避難できると考えているのか。

**A** 町内会だけに任せるのは難しい。まだ取り組みの計画がしっかりとっていないので、もっと研究したい。

**意見** どの課ということではなく、行政と町民全体で災害対策について考えて行くべき。どの程度のマンパワーが必要なのか検討し、協力を呼びかけてほしい。

**Q** 八雲みらいプロデュース会議運営事業

**Q** 未来プロデュース会議のメンバーは。

**A** 八雲町との関係が深い徳川氏、八雲町観光大使の大河原氏、居酒屋八雲経営の合掌氏、上智大の学長と八雲町長と職員1名の予定。

**Q** 未来という名前がついているのだから、若い人も入れるべきではないか。

**A** この会議の趣旨は、町長に対する政策提言なので目的が違う。若い人はフロンティア事業に参加してもらおう。

### 職員研修旅費

**Q** 職員の資質向上には、外部研修が必要。今の職員数で、この予算なら少ない。もっと拡大してはどうか。

**A** 昔に比べ研修が短期間になったこともあり、職員数に対しては、それなりの予算となっている。渡島管内は公用車で行く。町内研修や4町連携しての研修も行っている。今後も、コミュニケーション能力等をスキルアップできるように工夫する。

**Q** 民間主催の研修でも良い。外に出る機会を作って、まちづくりに生かすのは当然。そうした機会はあるのか。若い職員の人材育成をしてほしい。人材あつての八雲町ではないか。

**A** 人づくりはまちづくりにつながる。来年度はもっと考え、若い職員の育成に力を入れる。

## 民生費

### 子育て支援センター運営事業

**Q** 子育て支援センターの運営事業の中で、若者の社会参加への具体的な支援事業計画は。

**A** 引きこもりや不登校の対応として、国の『子ども若者支援計画』に沿って行っている。

**Q** 相談事業が中心といってもあまり知られていない。認知度が低いのではないか。

**A** 今は保健所と連携して、数名の支援に携わっている。引きこもりは見えないところで起こっている。年齢が高くなると対応が難しい。PR不足もあるが、一歩踏み込めない人もいる。今後も地道にアピールしていきたい。



# 委員会質疑

## ここが知りたい



あかい むつみ 赤井 睦美 副委員長

### 商工費

上の湯地区既存井現況調査事業

Q 上の湯の井戸(温泉)は、なぜ、今調査するのか。

A 国の外郭団体から15年前に無償譲渡を受けた。バルブ設置から25年経過しているので調査をする。

Q もし、活用できるとしたら、どのように考えているのか。

A 有効なら利用するが、発電となると莫大な費用が掛かるので、熱源としての農業振興等が考えられる。

Q 近隣に温泉があるので、そこには丁寧な説明が必要ではないか。

A 2件の温泉旅館等に迷惑が掛からないように個別に説明に行く。合同説明会も開催。保健所にも協力を得ている。

### 農業費

研修牧場整備事業

Q 研修農場に対する町の出資金は、一千万円だが、総額はいくらか。

A 現在、調整中。農協は町と同程度の出資、上八雲の方は無理のない金額。

Q 出資金の他に町の費用負担は、

A 設計費、建設費、及び建設までの事務費。

Q 会社の代表者は、

A 株式会社とし、町長、JA運営委員長、上八雲代表の3名が事業共同代表。

Q 計画にコンサルも入れるのか。

A 他町で実績のある関連会社のサポートを受け、ノウハウを教えよう。

Q 運営資金が足りなくなるなど、経営環境が厳しくなった場合のリスクは、

A 当面は乳価や個体価格も急激には下がらない。下がった場合も想定しているが、経営が悪化することは、限りなく低い。もし事故が多発したり、乳量が減っても関係機関のバックアップがある。株式会社なので、町のリスクはない。

Q 解散の際は出資金が返ってこない。

Q 解散状態になったら出資金だけでは済まないのでは。従業員のことなど含め、そのリスクをどう考えるか。

A その点は想定していないが、その時は必要な政策を打つ。しかし、国の事業に乗せていく上、道の応援もあり、新函館農協からも

全面的に協力すると言われているので、リスクはあるが、経営的には大丈夫だと思っている。牧場の運営は農業者の方たち。町は、就農者対策が一番の目的。産業が持続できなければ、町も持続できないため、担い手の確保に力を入れる。

Q 全国的に人手不足の中、研修生は集まるのか。その募集方法は、

A 道の農政部と話したが、八雲は交通の便が良く、場所的に恵まれている。牛の確保も協力体制があるので、集まると考えている。

Q 軌道に乗るまでの資金繰りは、

A 5軒分の農家の牛から始まるがしつかりシミュレーションしている。うまく回るには3年かかると。その期間は運転資金を融資してもらおう。



有害大型獣解体処理施設整備事業

- Q 食肉として販売も？
- A 有害駆除の解体のみで、食肉までは想定していない。
- Q シカが増えているので、食肉処理もすべきでは。
- A 現在の数で食肉に回すのは難しく、山から降ろして食肉にするまでの時間を考えても難しい。
- Q 将来この施設で処理した肉を、提供できるように拡大は。
- A 今現在は難しいが、設備の追加で可能。課題を整理して検討。

教育費

地域高校就学支援事業

- Q この事業の新しい取組みは。
- A 通信学習の一つ。八雲高校がスタデイサプリで、インターネット予備校で学習。そのことに対する支援。
- Q スマホで行っているのか。
- A スマホでもパソコンでも受けられる。



費用はどの位かかるのか。

- A 月額980円。その二分の一を補助するので、年間約6千円。

病院会計

医師対策について

- Q 医師確保はどのような方法で行っているのか。
- A 北大、札医大、旭川医大を中心にお願いしている。道の医師会、病院協会、地域医療財団、民間の派遣会社10社にも登録。また、医療雑誌にも掲載し、八雲町出身の医師に手紙を出すなど、様々な方法で要請している。
- Q 今は地域に関係なく、全国どこからでも来てもらえるのか。
- A 基本は北大、札医大、旭川医



大が中心。出張医もここから来てもらっている。このつながりを大事にしたい。東北一円の医療大学にも依頼。

- Q 町民ドッグのために名古屋から医師が来てくれているのだから、お願いできないのか。

A 名古屋大学、藤田学園、名古屋女子医大、京都府立大学等が来てくれているので、懇親会に参加し挨拶と共にお願いをしている。

- Q 域学連携もしているのだから、医師要請はできないのか。

A 北里大学獣医学部と連携している。再三お願いしているが、医学部の医師は難しいと言われる。名古屋も八雲町とはゆかりがあるが、なかなか難しい。引き続き多方面で研究し、懇願していく。



ふるさと応援寄附金積立金

前年度約37億円だったが、返礼品が3割となったため、今年度は12億円を見込んでいます。魅力的な返礼品はもちろん、魅力的な取り組みがあれば、寄付も集まると思うので、みんなで八雲の魅力を発信していきましょう！

◆委員長報告より

特に理事者に対し申し入れるべきこと。

(1) H30年度は、ふるさと応援寄附金が好調であったが、制度変更による今後の動向を注視するとともに、予算執行にあたっては、引き続き経常的経費の支出を精査しながら、持続可能な財政運営に努めること。

(2) 事業実施に関する内部決定を行う過程においては、必要に応じて地域への説明や意見を確認するなど、慎重に事業を組み立てていくこと。

(3) 過去において、会議での議論の経過や意見、質問、質疑に対し、答弁を行った内容について、適正に対応していない事項が見受けられたので、今後においては適正に対応すること。

# 議会報告会

～皆さんの声を聞かせてください～ 開催しました

## はぴあ 八雲

2月20日、はぴあ八雲で議会報告会を行いました。テーマは「役場庁舎改築」と「医師住宅新築」の2つでした。後者について多くの意見は出されなかったのですが、前者において関心が高かったと見え、会場は36名の参加者で、いっぱいとなりました。議会側は改築場所を特定しない形で参加者からの意見を頂戴しました。

### <主な意見>

- ・町提案の国立病院機構八雲病院が廃止された場合の跡地では遠すぎるし、足の悪い高齢者が行くのは大変だ。
- ・八雲のまちづくりの問題だ。住初町の一画を買って整備すべき。
- ・新年総会の際に、今の場所に建ててほしいと決議しました。(ある町内会長)
- ・3か所の視察先(新潟県長岡市・岩手県紫波町・宮古市)、ステキですね。新庁舎にも、それらの機能をぜひ盛り込んで。あと、温泉もあるといいと思う。シャトルバスなども出して、距離感を感じさせない工夫をしてください。



役場改築に関する構想は2019年度と2020年度の2ヶ年で策定され、合併特例債(国が返済額の7割を負担する)が利用できる2030年度までには庁舎が完成していきなくてはなりません。

## 議会報告会の日程が決まりました(予定)

**2019年7月23日(火)**

- |    |          |        |
|----|----------|--------|
| 会場 | はぴあ八雲    | 13:30～ |
| 会場 | 熊石総合支所   | 18:00～ |
| 会場 | 落部レクセンター | 18:00～ |

言いたいこと、聞きたいこと、なんでもOK!  
参加をお待ちしております

皆さんの声を聞かせてください



# 一般質問

## 住みよいまちを 築くために！

Q ホタテガイのへい死について

A 国や北海道に要請する



みやもと まさはる 議員  
宮本 雅晴

**問** へい死の現状と要因・漁業経営への影響・今後の対応について伺う。

**町長** ホタテガイ養殖における、へい死の現状は、八雲地域のみならず、噴火湾全体に波及している。八雲漁協・落部漁協管内のホタテガイの生育状況の把握は、渡島北部地区水産技術普及指導所の専門官が、町・漁協と共同により、成貝出荷時に合わせ、無作為抽出をしている。

ホタテガイは、海外への輸出も大きく進展しており、八雲町の基幹産業となっている。

この状況が続いた場合、当該漁業者の廃業や、水産加工業者や運送業にも影響が波及する。各漁協としっかり連携して、原因究明をはじめ、漁業経営の安定化に向けた必要な支援・施策について、国や北海道に対し要請する。



ホタテ出荷現場

### 議会これからの予定

《5月》

- 25日 八雲町植樹祭(入沢地区町有林)
- 31日 議会運営委員会

《6月》

- 5日～7日 第2回定例会
- 5日 会派代表者会議
- 6日 総務経済常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 7日 全員協議会
- 議会運営委員会

### 議会を傍聴してみませんか

次の議会は、  
第2回定例会

6月5日(水) 午前10時から  
開会の予定です。

お気軽に足を運んでみてください。

YouTubeで映像配信もしています

Q 『子どもの権利に関する条例』を  
制定しよう！

A 今ある条例や規則で対応



あかい むつみ 議員  
赤井 睦美

**問** 1月に千葉県で小学生女児が、虐待を受け死亡する事件が起こった。子ども達の幸せのため『子どもの権利に関する条例』の制定を提案する。

①政府の小中学生の携帯・スマホの原則持ち込み禁止の緩和に対し、どのような対応を考えているか？  
その点で子ども達の意見を聴く機会はあるのか？  
②虐待に対する関係機関の連携は取れているのか？  
③部活等で行き過ぎた指導による人権侵害はないか？

**町長**

子どもの権利条約、児童福祉法や児童憲章等の法令に従い、子どもに優しい町づくりの推進と、青少年健全育成協議会と連携し、子ども達が自らの権利を主張できる活動を積極的に推進する。

①現時点ではスマホの持ち込みは考えていない。学校への持ち物のルールは、大人が責任をもって決定するため、子どもの意見を聴く機会は持たない。

②虐待については八雲町要保護児童対策連絡協議会を中核に、児童相談所、教育・福祉部局、保健所、警察等の関係機関と連携を図っている。

③町ではそうした事案はない。



Q 空家バンクの今後は

A 広報誌等も利用しながら周知していく

**問** 空家バンク

は、売却・賃貸したい人と購入・賃借したい人とのマッチングする制度である。制度を周知し、ホームページの拡充が考えられないか伺う。

**町長**

所有者から申請がなければ、登録者数は増えない。引き続き子育て世帯への空家リフォーム補助制度の活用と合わせて、ホームページは勿論のこと、広報誌や出前説明会なども積極的にを行い、PRにつとめたい。

と考えている。

Q 町有財産の今後は

A 積極的に処分していく



**問**

3月1日に室蘭市が行った市有地売却では、付随する建物の解体費が土地評価額を上回った為にマイナス入札価格となった。当町にも未利用財産が見受けられ、早期に処分を考えなければならぬと思うが、見解を伺う。

**町長**

将来的に利用計画のない遊休地は、隣接者が譲渡を希望している場合、随意契約により譲渡する。また、隣接者が希望しない場合は、一般競争入札により、売却を進めている。今後においても、遊休地等は積極的に処分していく。



よこた きよし 議員  
横田 喜世志

## Q「イジリも問題なんだ」という認識は？

### A イジリとイジメの区別はしない



みさわ きみお 議員

**問** 滋賀県大津市のいじめ自殺

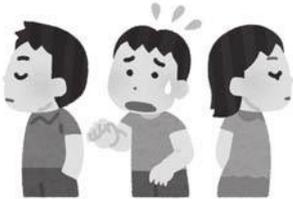
訴訟の判決は、ふざけあいとして見過ごされていたイジリの事例一つ一つを丁寧に事実認定し、イジる側イジられる側が固定化され継続したならば自殺に結び付き、その認識があれば十分に予見可能だと判決されたことが重要だ。さて、この認識は現場に浸透しているのか。一方、現場の多忙さは深刻で、今まで以上に児童・生徒やクラス運営に向き合う時間を増やしたいが現状はどうか。

**教育長** 年に複数回、全児童・生徒へのアンケートを行い分析し、

いじめ防止に特化した生徒指導研修を年に3回実施している。イジメの認知例は全教職員で共有し、イジメ行為がなくなっても、約3カ月は経過観察している。さらに子どもと向き合う時間を確保するために働き方の改善について保護者・地域の一層の理解を図っている。

**学校教育課参事** 現場では子どもの観察にあてる時間はなかなか確保できていない。

**町長** 先生方の業務の軽減の為には町としてもいろんな事が考えられるので、教育委員会と相談しながらやっていきたい。



## Q 今後の高齢者対策について

### A 互助の体制づくりが重要

**問** ①空家を高齢者向けのシェアハウスにできないか。

②市街地以外でも「高齢者のカフェ」のような施策に取り組んではどうか。

**町長** ①空き家活用は可能。町が主体的にとり入り入居や運営を希望する方から情報を寄せていただき、どんな支援ができるか考えたい。

②サロンのなものが必要だと思っている。予算上でも落部、熊石に予定している。

**保健福祉課長** 地区の特定はしていないが、まちづくりカフェを開催してニーズの掘り起こしを進めていきたい。

【農林漁業の6次産業化】  
1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、農山漁村の豊かな地域資源を活用して新たな付加価値を生み出す取り組みです。

**Q** 6次産業化に支援を

**A** 八雲町としても大歓迎

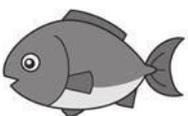
**問** 農業、漁業、林業などの6次産業化に対して積極的に支援する考えはあるか。

**町長** 若手漁業者が農林水産省の支援を受けるため、関係機関と協議している。様々な分野の6次産業化を町は精力的に応援していく。



さとう ともこ 議員

佐藤 ともこ 議員



A 現段階では難しいが検討する



せきぐち まさひろ 関口 正博 議員

**問** 今まさに噴火湾において、ホタテの大量死が大きな問題となっている。養殖事業の再生・また新たな資源開発のためにクラウドファンディング型ふるさと納税の実施ができないか伺う。

**【クラウドファンディング(CF)型ふるさと納税】**

寄付金の使い道を具体的に示して支援を募る制度。地域が抱える課題の解決や新規プロジェクトの発足に必要な資金をふるさと納税での寄付を通して集めるのが目的となる。

**町長**

ふるさと納税を活用するのは有効な手段と考えるが、具体的な内容を整理、検討したうえで実施すべきものと考えており、現段階において実施は難しい。

**問**

漁業者は大変な思いでいる。漁業を未来に繋ぐためにも、噴火湾における新たな資源開発に早急に手を打つべきでは？

**町長**

噴火湾のホタテの問題には大変危機感を持っている。未来を見据えた支援策としては、クラウドファンディングのような形は有効と考える。今後、産業界等と相談しながら、新たな仕組み、方法を検討してみたい。



議会のうごき

《2月》

- 5日 静岡県伊東市議会行政視察来庁
- 15日 議会運営委員会
- 20日 議会報告会（はぴあ八雲）
- 22日 全員協議会
- 22日 庁舎等整備調査特別委員会
- 22日 文教厚生常任委員会

《3月》

- 5日 議会運営委員会
- 11日～19日 第1回定例会
- 11日 全員協議会
- 役場庁舎等整備調査特別委員会  
会派代表者会議
- 13日～18日 予算特別委員会
- 15日 総務経済常任委員会
- 18日 文教厚生常任委員会
- 広報公聴常任委員会
- 19日 全員協議会
- 議会運営委員会

《4月》

- 2日 広報広聴常任委員会
- 15日 広報広聴常任委員会
- 22日 広報公聴常任委員会
- 24日 議会報告会準備会
- 25日 文教厚生常任委員会



# 定例会・臨時会議件一覧

平成31年第1回臨時会（平成31年1月30日）			
議案第1号	北海道市町村総合事務組合規約の制定並びに廃止について	議案第3号	平成30年度八雲町下水道事業特別会計補正予算（第3号）
議案第2号	平成30年度八雲町一般会計補正予算（第11号）	—	—
平成31年第1回定例会（平成31年3月11日～19日）			
議案第1号	平成31年度八雲町一般会計予算	議案第23号	平成30年度八雲町水道事業会計補正予算（第4号）
議案第2号	平成31年度八雲町国民健康保険事業特別会計予算	議案第24号	平成31年度八雲町一般会計補正予算（第1号）
議案第3号	平成31年度八雲町後期高齢者医療特別会計予算	承認第1号	専決処分の承認を求めることについて （平成30年度八雲町一般会計補正予算（第12号））
議案第4号	平成31年度八雲町介護保険事業特別会計予算	報告第1号	専決処分の報告について （損害賠償額の決定について）
議案第5号	平成31年度八雲町熊石地域簡易水道事業特別会計予算	同意第1号	八雲町教育委員会教育長の任命に関し、同意を求めることについて
議案第6号	平成31年度八雲町下水道事業特別会計予算	同意第2号	八雲町教育委員会委員の任命に関し、同意を求めることについて
議案第7号	平成31年度八雲町農業集落排水事業特別会計予算	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
議案第8号	平成31年度八雲町病院事業会計予算	諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
議案第9号	平成31年度八雲町水道事業会計予算	諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
議案第10号	八雲町課設置条例の一部を改正する条例	発委第1号	八雲町議会委員会条例の一部を改正する条例
議案第11号	八雲町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	発委第2号	八雲町議会傍聴規則の一部を改正する規則
議案第12号	八雲町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	発議第1号	農林水産物・食品の輸出力強化を求める意見書
議案第13号	八雲町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	発議第2号	妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書
議案第14号	八雲町設備投資促進条例	発議第3号	地方公務員法及び地方自治法の一部改正における会計年度任用職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書
議案第15号	八雲町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	発議第4号	食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを進める意見書
議案第16号	八雲町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	発議第5号	消費税の10%への引き上げ断念を求める意見書
議案第17号	指定管理者の指定について	発議第6号	国民健康保険における子どもに係る均等割額の廃止等に関する意見書
議案第18号	指定管理者の指定について	発議第7号	カジノを含む統合リゾート（IR）を誘致しないことを求める意見書
議案第19号	平成30年度八雲町一般会計補正予算（第13号）	発議第8号	教職員を増やし長時間労働の是正を求める意見書
議案第20号	平成30年度八雲町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	八雲町役場庁舎等整備調査特別委員会中間報告書	
議案第21号	平成30年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	予算特別委員会審査報告書	
議案第22号	平成30年度八雲町熊石地域簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	議会運営委員会の閉会中の継続審査申出書	

異議あり!

## 第1回定例会 賛否一覧 (反対のあった議案を掲載)

賛成 ○ 反対 ×

議 案 名	採決結果	関口正博	佐藤智子	横田喜世志	齋藤實	大久保建一	赤井睦美	三澤公雄	田中裕	牧野仁	安藤辰行	宮本雅晴	千葉隆	黒島竹満	能登谷正人
議案第2号 平成31年度八雲町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号 八雲町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号 農林水産物・食品の輸出力強化を求める意見書	原案可決	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号 妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書	原案可決	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第5号 消費税の10%への引き上げ断念を求める意見書	否 決	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
発議第6号 国民健康保険における子どもに係る均等割額の廃止等に関する意見書	否 決	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
発議第7号 カジノを含む統合リゾート（IR）を誘致しないことを求める意見書	否 決	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×

※能登谷 正人議長は賛否同数の場合に、その可否を決定します。

## 八雲町役場庁舎等整備調査特別委員会

これまで2回の視察及び9回の協議を行いまとめた「八雲町役場庁舎等の整備に関する提言書」が3月5日、三澤委員長から岩村町長に渡されました。

提言書の内容は、「これからの庁舎のイメージ」に始まり、

- (1)町財政への配慮について
- (2)行政機能について
- (3)災害対策機能について
- (4)交流・情報発信機能について
- (5)議会機能について

以上の5項目でそれぞれ提言を行っています。

尚、提言書は議会ホームページに掲載いたしますので、興味のある方はご覧ください。



岩村町長へ提言書を渡す三澤委員長

今後はこの提言が、町の作る基本構想や設計に、どれだけ反映されているかを注視していきます。

### 《 議会広報の訂正とお詫び 》

第60号平成31年2月号において、掲載した記事に誤りがありました。訂正箇所は「新たな対策土受入候補地の確保について(新幹線推進室)」の文章で、受入候補地が確定したかの様な書き方になっていましたが、候補地として検討を進めているというものでした。あらためてお詫び申し上げます。

なお、この「新たな候補地」については、今回の予算委員会の中で考え直すという方針が説明され、別の「新たな候補地」選びを行う形となっています。

今後、尚一層の精進をし、正確で解り易い誌面作りに励みますので、町民の皆様、これからも熟読されます様、よろしくお願い致します。

# 常任委員会の活動

平成31年2月から平成31年4月の常任委員会の活動です

## 総務経済

3月15日に所管各課から報告を受けた中で主なものをお知らせします。

### ●研修牧場施設整備事業について (農林課)

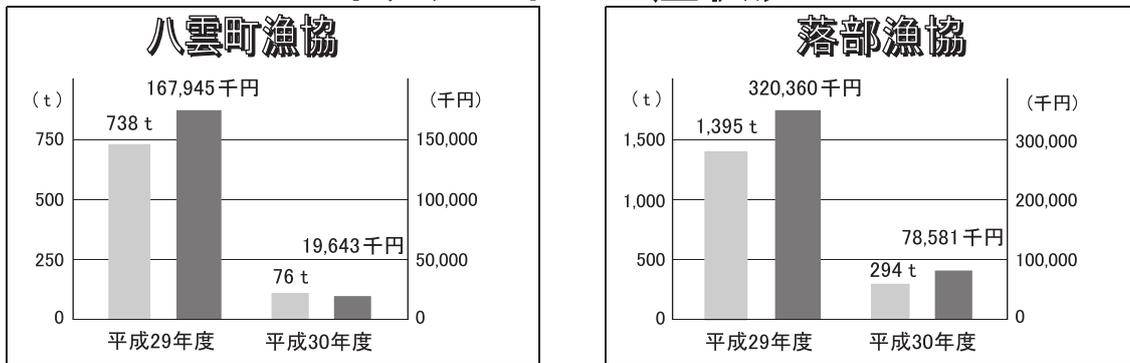
今年度予算案に法人設立と実施設計の予算を計上した。出資額は上限を1千万円とし、金額の確定はJA新はこだと協議の後決まる。夏までには法人を設立したい。

法人代表は、町長・JA新はこだて八雲基幹支店運営委員長・上八雲地区代表の3名で構成する。設立する法人の運営は完全な民間運営となり、町は経営とは一線を画すので経営上のリスクは負わない。牧場整備には十分にノウハウを持っている法人のサポートを受ける予定であり、リスクを過小評価することなく、無理のない事業計画を作っている。

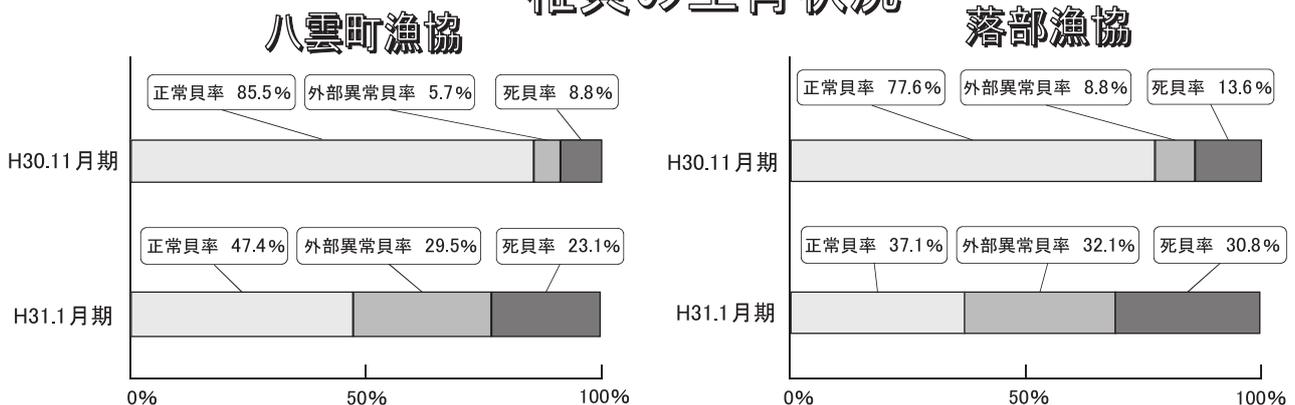
なお、ご希望があれば、懇談会(一般会議)を開きますので、議

会事務局までお申し込み下さい。  
●ホタテガイの生産状況(新貝)と稚貝の生育状況について(水産課)

## ホタテガイの生産状況



## 稚貝の生育状況



# 文教厚生

3月18日の委員会で報告を受けた主なものをお知らせします。

## ★保健福祉課

### (1) 風しんの追加的対策について

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性はこれまでの制度の変更等により、風しんに係る公的な予防接種を受ける機会がなかった世代で、抗体保有率が女性及び他世代の男性より低くなっています。そこで厚労省は当該世代の男性に対し、公的な予防接種を1回受ける機会を設け、2022年3月31日までの期限措置として予防接種に規定する定期接種を行うこととしました。

対象となる方にはクーポン券が送られます。

昨年7月以降、関東地方を中心に風しん患者が増加していますので、該当する方は是非、接種を！

### (2) 高齢者等肺炎球菌予防接種助成事業について

厚労省は助成対象を今年度から

65歳になる方のみとしていましたが、さらなる接種機会の提供のため、今年度以降も5年間にわたって5歳刻みでの定期接種を継続することになりました。ただし、すでに肺炎球菌ワクチンの接種を受けたことがある方は対象外です。この機会に是非、接種を！



## ★八雲総合病院

### (1) 院内売店運営事業者について

3月31日で院内売店運営の施設使用期間が満了となったため、公募型プロポーザル方式で運営業者を選定し、株式会社ローソンに決定。5月7日から営業開始予定です。

### (2) 冷房設備事業について

工期終了は6月30日を予定しています。6月中は試運転などを行

い、7月1日から本稼動となりま

### (3) 旧院長住宅の売却について

土地の評価額を1万2千円/mとし、総面積で850万円。建物は築36年が経過し価値無しと評価解体費140万円を差し引いた710万円を入札価格と決定。3月29日に入札を行い「ツバメ工業(株)」が落札しました。

## ★住民生活課

### (1) 国民健康保険税の課税限度額の見直し

基礎課税額に係る課税限度額を現行の58万円から61万円に引き上げます。

### (2) 国民健康保険税の軽減判定所得の見直し

軽減判定所得  
5割軽減基準額：基礎控除額＋27・5万円が28万円に引き上げ  
2割軽減基準額：基礎控除額＋50万円が51万円に引き上げます。

文厚委員会では、以前提言した子育て支援に関する提言の内、実現されていない4項目に加え、所管の保健・福祉、病院、教育、上下水道・簡易水道及び環境に関する調査の中で、優先順位と方向性を考えて取り組めるよう検討しています。

どれも町民皆さまの日常生活に直結する重要な取り組みですし、皆さまの健康や福祉の向上にプラスにならなければ、調査の意味がありません。議会報告会や一般会議などを通じて、皆さまのご意見や日頃の思いなどをお聞きしながら政策提言に活かしていきたいよう努力いたします。

議会へのメールや手紙、お電話など、どのような形でも結構ですので、委員会に対して声をかけていただけると嬉しいです。みんなで知恵を出し合い、健康で幸せな町、八雲を目指しましょう！



# 耳を すまして

町民の皆さまの声が聞きたくて、議会を飛び出し町内の色々な団体やサークルなどの皆さまの声を聞いてみました。

今回は

## 落部小学校PTAのみなさんです

### Q 町内で最初に取り組んだ『小中一貫コミュニティ・スクール』について教えてください。

- ・小学校でも英語が教科になったこともあり、中学校の英語の先生と小学校の担任と2人で教えている。子どもたちは英会話をとても楽しんでる。
- ・高学年の算数にも、中学校の数学の先生が入って担任と2人で教えているため、充実している。
- ・子どもたちは以前から地域のお祭りや行事にも参加していたので、その延長で特別な事業はない。以前は、コミュニティ・スクールの運営委員にPTA会長だけが入っていたが、今は三役が入るようにして取り組んでいる。

### Q 議会からの子育て支援に関する提言が実現していますが、そうしたことが話題になることはありますか？

- ・そのための調査アンケートにも記入したので、やっと医療費が無料になったという話が出ている。高校生の通学費助成やスポーツ少年団への移動手段に関しても話題になっていた。
- ・以前、小学校のプールが取り壊されるときに、町民プールへの送迎をお願いしたら、夏休みに実現した。図書館や体育館にも通える環境が望ましい。

### Q 子どもたちを通して学校生活で感じることは？

- ・落部小学校の大規模改修が1年延期されたので、是非、今年は実施してほしい。屋上は雨漏りし、暖房は古くて修理するにも部品がない状況。トイレも簡易式。
- ・自転車通学の中学生のヘルメットが義務化されていない。安全と防災の面を考えると、小中学校共にヘルメットの装備は必要。学校によって対応が違うので、町として統一して対応できないだろうか。
- ・冬でも学校に救急車を入れるように除雪をしなければならぬが、人力では間に合わないで除雪機が必要。どこかで借りることはできないだろうか。
- ・中学校が寒くてコートを着て授業を受けている。予算が少ないため、暖房を節約していると聞いた。
- ・中学校体育館の水道水が錆の味がすると言っている。大丈夫だろうか？



### Q 日常生活で気になることは？

- ・防災のサイレンが聞こえない。火事なのか高速道路のパトカーのサイレンなのか区別がつかない。消防団員でもサイレンが聞こえないために、駆け付けられなかった人もいる。携帯などもうまく利用して、消防団員に伝える工夫をしてほしい。メールやラインの音も、他の連絡と区別ができるようにする必要がある。
- ・ブラックアウトの時に学校が休みになるという連絡はとても良かった。あの時のように、防災無線をもっと有効に活用してほしい。
- ・社会教育の事業「英語で遊ぼう」はとても良い。落部でも、もっとそうした活動を充実してほしい。子ども会ひろばへの参加率はとても高く、子どもたちは喜んで参加している。
- ・今後、小中学校合同の子どもたちの避難訓練を考えている。学校にいるときは、先生たちが誘導してくれるので安心だが、放課後、子どもたちがいろいろな場所で遊んでいる時に、災害があったらどこへ逃げるのか、大きな子が小さな子を誘導して避難できるようにするにはどうすべきかを考えている。
- ・分団の消防車の目印が小さいため、夜に出動すると、自分達の消防車がどこにあるのかわからない。もっと目立つように工夫してほしい。
- ・PTAも消防団も担い手不足。他の地域では、外国人実習生の消防団を結成したところもあるので、八雲町もいろいろ工夫していかなければならない。



### …取材を終えて…

地域のため、子どもたちのために熱心に活動されていて、頭が下がります。こうした力が地域を支え、子どもたちを健全に育てていくのだと改めて実感しました。



営利を目的とする場合を除き、この議会広報誌をそのまま読むことが困難な方のために、録音図書・拡大写本等へ複製することを認めます。製作後は八雲町議会事務局（☎0137-62-2388）へご報告ください。

広報誌内には (c) 2002-2013 www.arttodayjapan.com の画像を使用しています